

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名		健康危機管理体制整備					所管	健康部 生活衛生課
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	161	計画事業名	健康危機管理体制整備			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり						
		[小 柱] (3)安全で健康な生活環境の確保						
		[施策] ③健康危機管理の推進						[事業開始] 平成18年度 [終了予定] - 年度
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区健康危機管理連絡協議会要綱				
	事業対象	一般区民						
	事業目的	大規模な食中毒や感染症等の健康危機が発生した際の区及び関係機関との連携体制を構築する。						
	事業内容	医師会や警察、消防等をメンバーとして、台東区健康危機管理連絡協議会を開催するとともに模擬訓練を実施し、「健康危機」と呼ばれる事態が発生した際、関係機関が連携して迅速な対応が取られる体制を整備する。						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	台東区健康危機管理連絡協議会の開催回数	回	2	1	1	2	
		模擬訓練実施回数	回	2	0	1	1	
	成果指標	模擬訓練参加者数	人	30	0	17	14	
		決算額 (単位：千円)				103	501	174
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			5,539	10,202	4,010	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			8	302	7	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			96	200	168	
		総経費			5,643	10,704	4,185	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	56	53			
一般財源(区負担額)			5,643	10,648	4,132			
前回評価から改善した事項	新型インフルエンザ等発生時における区内医療体制の構築について検討を開始したほか、患者搬送訓練や陰圧テント設置訓練を実施した。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	感染症や食中毒などによる感染拡大防止及び被害の軽減を図ることが行政の責務であり、連携体制の構築のためには、協議会の開催は必要である。					
	効率性	3	平成26年度に区内を推定感染地とするデング熱が発生したことにより、平成27年度は、デング熱の発生が予想される時期の前に協議会を開催し、効率的な意見交換を行った。					
	手段の適切性	3	関係機関との連携体制構築のために、定期的に参集し、情報交換をすることは有効である。					
	目的達成度	4	模擬訓練を実施することで、対応能力を向上させるとともに改善点を確認することができた。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	維持 拡大改善 維持 縮小 廃止・終了	
関係機関と連携・協力を維持していくことは、健康被害の発生予防や拡大防止に必要な不可欠である。引き続き、健康危機管理連絡協議会を開催していくとともに、模擬訓練を実施していく。								